

呼吸器内科・医療の質 臨床指標 成人市中肺炎経年データ 6年の経過

公表されたDPCによる臨床指標
「成人市中肺炎の重症度別患者数等」
呼吸器内科のクオリティマネジメント

平成28年 DPCデータに基づく「病院情報の公表」義務付け

厚生労働省より指定された全国統一の定義と形式に基づいた指標

1. 年齢階級別退院患者数
2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）
3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数
4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
5. 脳梗塞のICD10別患者数等
6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）
7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

肺炎：重症度分類

- A-DROP方式……予後因子で分類

0, 1, 2, 3, 4, 5点が付けられる

軽症(0)、中等症(1, 2)、重症(3)、
超重症(4～5)

項目：Age

Dehydration

Respiration

Orientation

Pressure

DPC code 年齢A000010

1 0 0 0 1 0 5

院内肺炎、市中肺炎

肺炎重症度規定因子

免疫不全状態

データ蓄積

- 平成26年度から平成31年度までのデータが蓄積
- この6年間で分かること
- 背景因子の変化:
 - 日本人の平均寿命が延びている
 - 高齢化が進行している

平26年度	患者数	平均在院 日数	平均年齢	退院時転帰	
				死亡	死亡率
軽症	22	13.09	57.05	0	0.0
中等症	140	14.24	78.65	8	5.71
重症	63	20.95	82.46	12	19.05
超重症	37	16.30	82.54	13	35.14

平27年度	患者数	平均在院 日数	平均年齢	退院時転帰	
				死亡	死亡率
軽症	29	9.76	59.38	0	0.0
中等症	137	17.96	78.43	8	5.84
重症	53	20.89	84.02	10	18.87
超重症	25	19.76	82.68	4	16.00

平28年度	患者数	平均在院 日数	平均年齢	退院時転帰	
				死亡	死亡率
軽症	23	13.48	58.52	0	0.0
中等症	110	18.89	76.11	7	6.36
重症	43	22.14	82.86	5	11.63
超重症	11	15.55	81.73	7	63.64

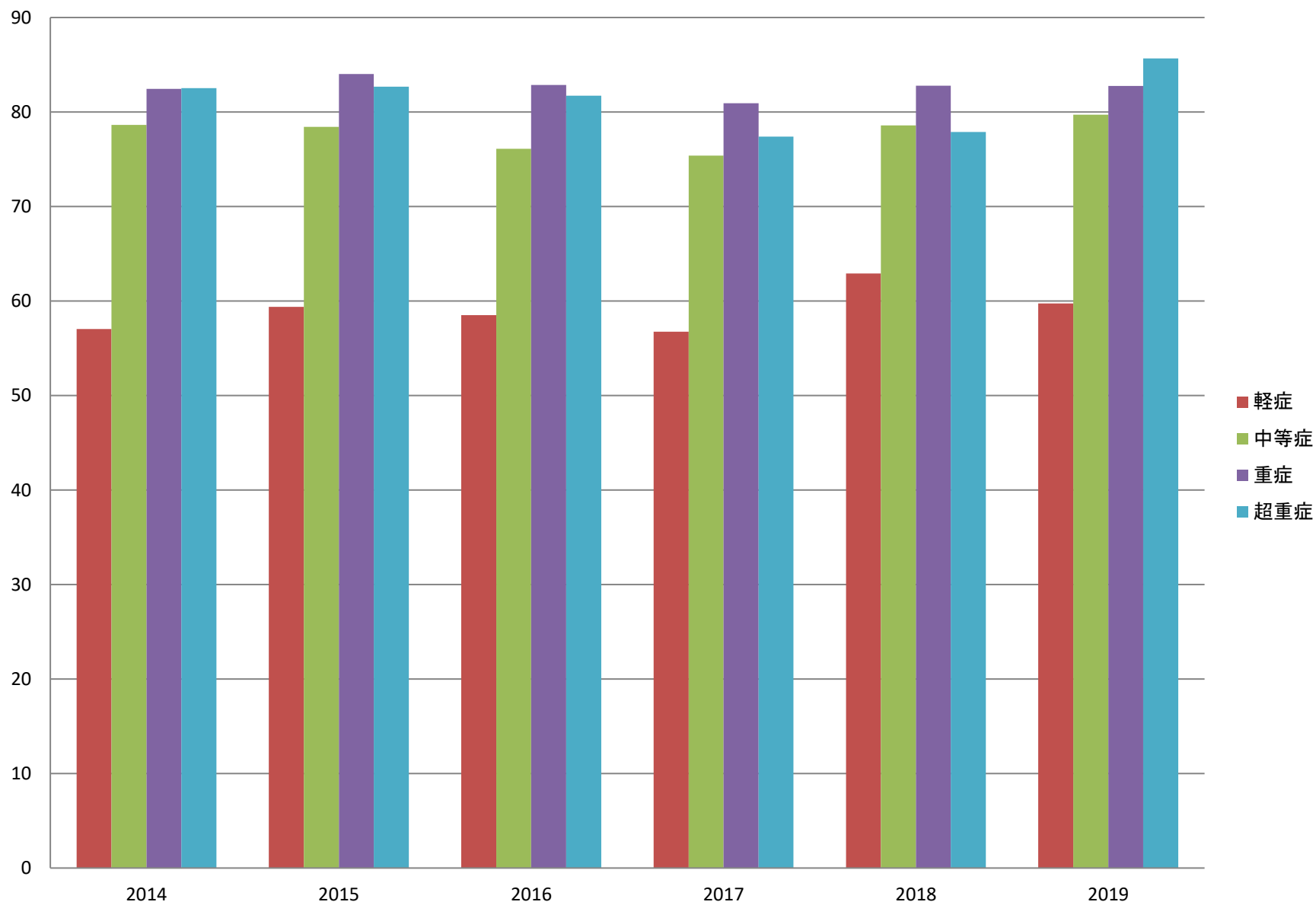
平29年度	患者数	平均在院 日数	平均年齢	退院時転帰	
				死亡	死亡率
軽症	12	10.00	56.75	0	0.0
中等症	95	15.91	75.39	4	7.3
重症	29	17.10	80.93	2	14.0
超重症	43	17.05	77.40	10	36.4

平30年度	患者数	平均在院 日数	平均年齢	退院時転帰	
				死亡	死亡率
軽症	14	10.14	62.93	0	0.0
中等症	135	16.09	78.58	9	6.7
重症	30	23.73	82.80	2	6.7
超重症	10	21.70	77.90	2	20.0

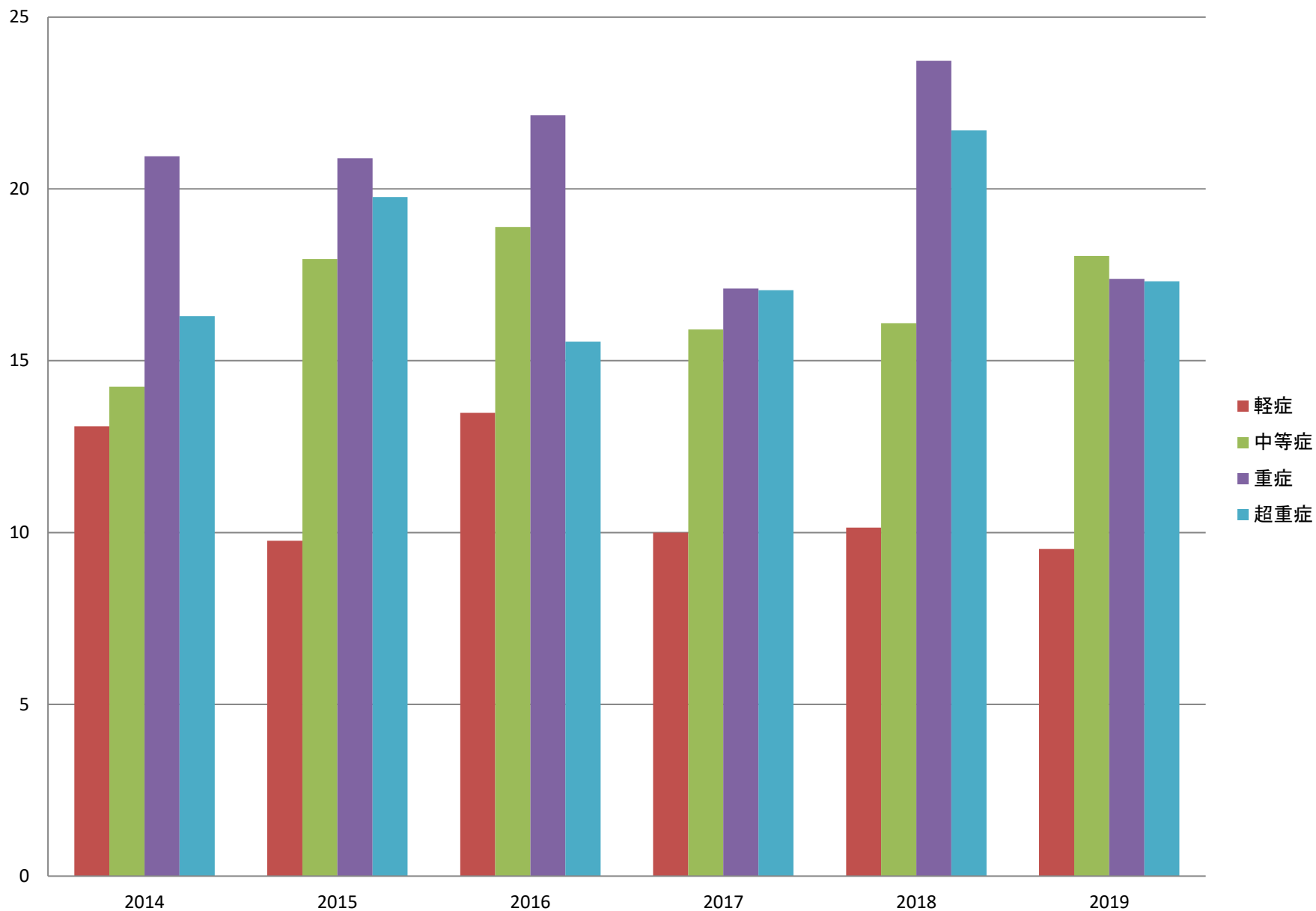
平31年度	患者数	平均在院 日数	平均年齢	退院時転帰	
				死亡	死亡率
軽症	21	9.52	59.76	0	0.0
中等症	181	18.05	79.72	12	6.6
重症	42	17.38	82.76	8	19.0
超重症	6	17.31	85.69	6	46.2

平26～31 年度	年平均 患者数	平均在院 日数	平均年齢	退院時転帰	
				平均死 亡数	平均死 亡率
軽症	20.2	11.0	59.1	0	0
中等症	133.0	16.9	77.8	8.0	6.0
重症	43.3	20.4	82.6	6.5	15.0
超重症	23.2	18.0	801.3	7.0	30.2

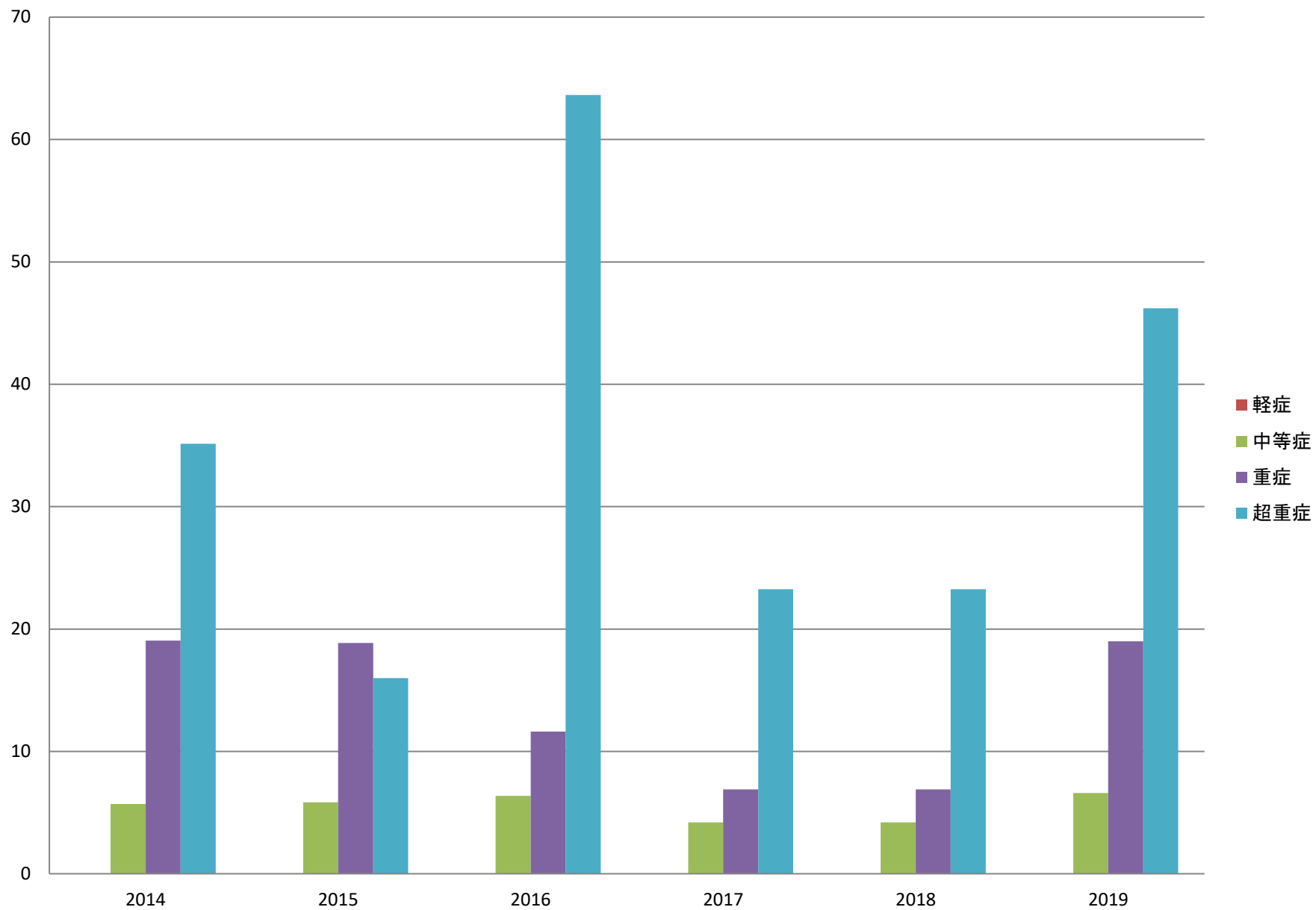
平均年齢



平均在院日数



死亡率%



まとめ

呼吸器内科の医療の質 適切な指標としての観点から

- 成人市中肺炎の重症度別患者数等（DPCデータ）

軽症死亡率は毎年0%で一定。

中等症死亡率は5－6%前後で一定。

重症の死亡率は変動が大きい。

超重症は最も変動が大きく、指標として採り上げ経年的な評価をすることは難しいと思われる。